

産科・周産母子センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 胎児中大脳動脈収縮期最大血流速度(MCA-PSV)と胎児貧血の関連に関する後方視的検討

[研究機関] 北海道大学病院（病院長 寶金 清博）

[研究責任者] 水上 尚典（産科・周産母子センター 教授）

[研究の目的]

以前は胎児貧血の評価には、羊水穿刺が必要でした。しかし、羊水穿刺には破水や早産のリスクがありました。正確な胎児貧血の診断には胎児採血（臍帯からの血液採取）が必要であるが、侵襲性が高く対象は限定的である。

近年、「超音波パルスドプラ法を用いた胎児中大脳動脈最高血流速度（MCA-PSV）計測値が胎児貧血の推定に有効である。（胎児貧血があるとMCAPSVが速くなる。）」と報告されてから、リスクが低いため広く行われるようになりました。しかし、しばしば、胎児貧血がないにも関わらず、MCAPSVが速い症例が存在します。

そこで、MCA-PSVを測定することにより、その値の分布、出生体重との関連、出生時のヘモグロビン濃度との関連を明らかにし、今後の医療に役立てるために本研究を行うことになりました。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2011年1月1日～2014年12月31日間に北海道大学病院産科・周産母子センターで妊娠36週以降に分娩された妊婦さんのうち、妊娠中のMCA-PSV測定値（25週以降）がある方

●利用するカルテ情報

1. MCA-PSV 測定値（妊娠 25 週以降）
2. 母体所見：母体年齢、既往分娩の有無、分娩週数、分娩様式（帝王切開術施行の有無）、母体身長、妊娠前母体体重、妊娠期間中の母体体重の推移、分娩前母体体重、妊娠偶発合併症（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病など）の有無
3. 新生児所見：胎児機能不全の有無、出生児体重、児性別、新生児仮死の有無、新生児の貧血所見の有無、臍帯血／新生児血Hb濃度、臍帯血pH

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/6051(医局)

FAX 011-706-7711